愛知県被災者支援センターニュース第48号平成26年6月25日発行

あおぞら

発行: 愛知県被災者支援センター

住所: 名古屋市中区三の丸 3-2-1

爱知県東大手庁舎 1階

TEL : 052-964-6722 FAX : 052-964-6993

開館:月~金 10~17時



あおぞら



タイトル 春の訪れ

季節が春なので春を告げる妖精をイメージしました

※この絵は春に描いてもらいました

(小6 三浦優海 さん)

今号から、子どもたちもあおぞらに参加できるよう、表紙に子どもの描いた絵を掲載していきます。

インタビュー②

東京都杉並区から日進市に避難された 岩澤努さん

岩澤さんと私は、2012 年 5 月に岡崎市内の幼稚園で行われた、放射能についての勉強会で初めて出会いました。その年の夏から保養活動の「福島のみんなあそびにおいでん!プロジェクト!」が実施され、カメラマンとして記録して下さり、私はスタッフとして参加していました。それから何度も顔を会わせていたけれど、避難の経緯や想いなどを伺ったことがなく、今回のインタビューを契機に是非聞いてみたいと思い実現しました。いわき市から避難された根本美佳さんと一緒にお話を伺いました。

岩澤さんは東京でプロカメラマンかつ経営者として活躍していました。2000年に会社を立ち上げてから、売り上げが増えるのと並行して体重や血糖値も高くなり、体に不調が出てきました。マクロビオティックに通じる西式健康法に出会い、お酒も一切の動物性のものも止めたところ、2年間で34kgも痩せたそうです。その期間、食が大切であることに気付き、精神的にも安定してきました。やがてお子さんを授かり、仕事も充実した日々を過ごされていました。

順風満帆になったころ、仕事の激務でまた体に不調が現れ、咳と蕁麻疹が止まらなくなりました。それは夜中も眠れないほどで、撮影にも影響を及ぼしました。その頃から、東京での生活に限界を感じ、仕事に通える範囲の田舎に移住したいと考えるようになりました。ちょうどその時、東日本大震災が発生しました。

岩澤さんは震災の1週間前に東京が水浸しになる夢を見た後、震災が起きて、瞬時に「逃げなきゃ!」と感じたそうです。女性の方が直感がよく働くと言うけど、うちは逆だったんだよねと、優しいまなざしでお話しされました。

避難のきっかけは、ものすごい不安感と子どもを守りたいという強い気持ちで、3/15 に荷物をまとめ、夕方娘さんの保育園にお迎えに行き、夜には新幹線に飛び乗っていました。新幹線が動き出した時、車内がホッとした空気に変わったことが不思議だったそうです。しかし、名古屋駅では何事もなかったかのようなギャップを感じたそうです。

それからは、放射能のことをインターネット や本などで、ひたすら調べる毎日。放射能のこ とが頭から離れず、なかなか仕事が手につきま せんでした。

自給自足をしたいと思い愛知の田舎を車で走りました。そして、今までの経済優先の生き方を変えようと決心し、借りた市民農園で家庭菜園を始めました。土に触れ、自然農をやり始めてから、咳と蕁麻疹が嘘のように止まりました。

原発事故があなたに何をもたらしたかを聞く と、「最大のピンチであったけれど、チャンスに 変える原動力になった」と答えてくれました。

次世代に伝えたいことを聞くと、どのように 生きるのか問われていると思う。困難な時代だ からこそ、こどもに一生懸命生きている後ろ姿 を見せたいと答えてくれました。

最後に今後の夢を語ってくれました。写真スタジオを作り、笑顔の写真を撮ることが今後のテーマです。部屋に飾った最高の笑顔の写真で、夫婦や親子関係が良くなって欲しい。写真を撮られることでセラピーになったり、自己肯定感が高まってくれたら嬉しい。自他を分けずに愛を持つこと、そうすれば全部がいい方に変わるんじゃないかなと優しく微笑んでくれました。

震災がなければ出会わなかった私達。3 年経ったからこそ語れること。ゆったりとした優しい時間でした。

ピンチをチャンスに!私もまた一歩踏み出し たいと思います。

(あおぞら編集委員 竹内支保子)

リレートーク

震災から3年が過ぎ、愛知県に避難している方たちは今、どんなことを感じ、何を考え、何をしているのでしょうか。共感や新たな気づき、次につながる何かを見つけるきっかけになって欲しいという思いで、同じ愛知県に避難している方の今をリレー形式で紹介していきます。

丁寧に、寛容に。

震災後、愛知県に自主避難して3回目の夏を迎えようとしております。山・海・都会・農村・森林・川・・なんでも揃うこの土地では、夏以外でも楽しみに事欠かず、様々な豊かさの恩恵を日々受け取ることができます。そんな中で平和を享受し続けると、私にはついつい忘れがちになってしまう二つのことがあります。

一つは丁寧に生きるということです。震災後に 多く議論されたエネルギーや食の問題について 考えていくことを中心に、人間が地球上に生を受 け、他の生き物たちと同じように共通性と多様性 を持って生きていくという当たり前のことを、つ いつい忘れてしまうのです。そして狭い視野の中 で、人間だけががんばって生きているような錯覚 に陥ってしまいます。先日、クリスマスシーズン に頂いてそのままベランダに放置しておいたポ インセチアの枝に新芽が生え、初々しくも力強く



力強く生きるポインセチア

生きている命を見つけました。生き物が私に喝を 入れてくれた瞬間でした。

もう一つは丁寧な暮らしにプラスして寛容に 生きるということ。理不尽なことが多く続いたり、 自分に余裕がないと寛容さを失ってしまいます。 白か黒か、正義か悪か。良いことや悪いことをは っきりと示すことはとても大切ですし、許しては いけないこともあります。しかし行き過ぎた行為 による社会からの追放は、生活ののりしろ部分を 失い、成長の幅を極端に狭めてしまう危険性もあ ります。大切なことは物事の善悪は見る角度によ っていかようにも解釈が可能なものもあるとい うことですし、短絡的に考えてはいけないという ことです。自分が不利益とならないために賢くな って自衛しなければ、世の中生きていかれないか もしれません。瞬時に情報が世界中にいきわたる 時代ですから、のんびりと構えていては時代錯誤 も甚だしいかもしれません。しかし、受け入れら れることが増えると、自分自身も生きやすくなる ような気がしますし、スパイスの効いた人生を送 ることができるのではないかなと思います。

丁寧に、寛容に人生を歩んでいきたいと思いま す。

(岡崎市在住 小野佳奈)

次回のリレートークは竹内支保子さんです。

交流会参加報告

第18回子育てつどいの広場

5月25日(日)に「子育てつどいの広場」が 行われました。回をかさねて、今回で第18回目 の開催となります。

室内にてボランティアの方々が子どもたちと一緒に遊んでくださるのでママたちは少し離れた所から子どもの笑い声や様子を見ながら談笑したり、育児についての本などお借りして読んだり、ゆったりと過ごさせていただきました。お昼は子どもが大好きな温かいお好み焼きを美味しくいただき、とてもお腹一杯になりました。

食後も子どもたちは元気いっぱいに走りまわ

って遊び、3時のおやつにはお手伝いしながらみんなで作ったパンケーキ(参加されている方のご寄付もあり)に好きなシロップをとろりとかけてほおばりました。

気温が高くなり心身ともにバランスを崩しやすい季節ですが、日々の育児や家事などからちょっと離れゆったりと過ごし、自分を見つめ直すきっかけにもなり、ほっと一息つける時間を持つことができて大変ありがたく感謝しております。

(ペンネーム ぴよちゃん)

子育てつどいの広場とは…ほぼ月 1 回のペースで名古屋市瑞穂区のボラみみより情報ステーションを会場にして、小さな子どもを抱えて避難している保護者同士の交流や地域の子育て支援情報の提供、相談を行っています。次回の日程が決まりましたら、定期便のイベント情報にてお知らせします。

スタッフ紹介 ~センター長 栗田暢之~

支援センターのスタッフがどのような経緯や思いでセンターの仕事をすることになったかを紹介していきます。第1回はセンター長および特定非営利活動法人レスキューストックヤード(RSY)代表理事の栗田暢之です。

はじまりは阪神・淡路大震災

1995 年阪神・淡路大震災で当時勤務していた 大学の学生ら延べ1500 人と 2 ヶ月間、大阪を拠 点に支援活動を行ったことが今の私の原点です。 当時の学生たちから「三十路」といじめられな がらも、彼らの「自分たちにできることはない のか」という熱意、真面目さに感動し、「一点の 曇りのない眼」というものをはじめて見ました。 そして、災害がもたらす様々な課題にずっと向 き合っていきたいと願い、2002 年に大学を退職 して NPO を設立しました。気が付けば、あれか ら 20 年の月日が経とうとしています。この間に も全国各地で様々な災害が発生しています。特

に 2011 年東日本大震災は 未曾有の災害であったという

ことは言うまでもありません。これまでの人のつながりや経験知を駆使して、RSYとしては宮城県七ヶ浜町を拠点にした現場支援、東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)の設立、そして愛知県被災者支援センターでの活動等を行っています。また、この地域は南海トラフ巨大地震の近い将来の発生が警戒されており、一層の防災・減災活動が必要となっています。微力でいやになりそうですが、「自分にできること」を日々模索しています。

みんなの情報交換板

こんなこと知りたい!みんなに教えたい!こんなときみんなはどうしているの?こんなことで困ってます。愛知県に避難してきて、まだまだ不慣れなこともあれば、他の人にも教えたい発見や工夫がある方もいるのではないでしょうか。そんなことをみんなで共有しませんか?双方向の情報から共感や新たな繋がりが生まれたら嬉しいです。「みんなの情報交換板」は井戸端会議のように誰もが気軽にやりとりできる投稿スペースです。

名古屋の夏は本当に暑い!みんな どうしてるんだろ? 簡単にできる暑さ対策があれば教

えて欲しい。

暑くて寝られないときは、 保冷剤にタオルを巻いて枕 に敷いたり、外に出るとき はペットボトルを凍らせて 持ち歩いています。

(ペンネーム エーム)

◆ みんなの情報交換板への参加方法

◎ メールまたは FAX にて投稿してください

E-mail: aozora@aichi-shien.net

F A X : 052-954-6993



うちではじゅうたんの代わり に敷いた竹マットに寝そべっ てます。ホームセンターとか で簡単に手に入りますよ。

(S. T)

ゴーヤやアサガオを育てて作る緑の カーテンがおすすめです。用土やプ ランター、ネットなど用意しなけれ ばいけないものがいくつかあります が、直射日光を遮って温度が下がり ます。日に日に成長していく様子を 見ているのも楽しいですよ。

◎文字数:1情報につき150文字以内

◎氏名・現住所・電話番号を明記してください

(実名・匿名・ペンネームなど、掲載の表記希望をお知らせください)

皆さんからのおすすめ情報、疑問・質問などをお待ちしております。

※掲載時、こちらで編集したり、内容によっては掲載不可となる場合もあります。

その他、相談させていただく場合があることを、ご承知おきください。

新鮮&安心な食材と出会いたい!







編集:あおぞら編集部

毎日の暮らしに欠かせない食生活。故郷とは気候の異なる愛知で生活されるにあたって食材探しにお悩みの皆さんの一助になれば・・・ということで、新鮮・安心・おいしい食材に出会える「愛知県内の産地直売施設」をシリーズでご紹介します。地域ごとに全 12 回で紹介していく予定です。第1回目は、名古屋の情報をお届けします。

ピックアップ ②JA天白信用グリーンセンター

月~金·日 9:00~12:00 TEL 052-807-7911

名古屋市東部の自然豊かな天白区に位置します。

同内の農家の方々が愛情をこめて育てた新鮮で安全な野菜・果物・花などの農産物を年間通じて販売。夏野菜のおすすめは、きゅうり・ナス・ピーマン・とうもろこし、そして、天白の特産品である、ホクホクした食感と甘さが特徴の「くりあじかぼちゃ」等。同じく特産品「八事五寸にんじん」(12月~1月)も柔らかで甘味が強く人気です。

出店者とおしゃべりを楽しみながら・・・という方は、「②JA 天白植田駅前支店朝市」もおススメ! 土日の6:30~7:30頃。地下鉄鶴舞線「植田駅」③出口から150m。

名古屋市内の産地直売施設 ※営業時間は変更になる場合がありますので、電話確認されると安心です。

番	施設の名称	所在地住所	営業日	営業時間	TEL
1	JAなごや千種支店朝市	千種区末盛通4-31	7のつく日	9:00~	052-761-3131
2	オアシス21オーガニックファーマーズ朝市村	東区東桜1-11-1	土曜	8:30~11:30	052-782-2837
3	大曽根朝市	北区大曽根本通商店街(オゾ ンアベニュー)	第2土曜	8:00~11:00	052-981-3274
4	枇杷島学区女性朝市	西区枇杷島3	第2土曜	9:00~ お休みの月も	052-521-6552
⑤	日比津(ひびつ)わくわく市	中村区本陣通5丁目24-1	第1•第3土曜	7:00~9:00	052-481-8281
6	ナナちゃんストリートオーガニックタぐれ市	中村区名駅1-2-4	火曜	16:00~19:00	052-265-8371
7	とだがわ陽だまり館	港区春田野2-3204	月曜定休 年末年始休み	9:00~16:30	052-302-5545
8	JAなごや小碓(おうす)支店朝市	港区当知3-2901	0と5のつく平日	5:30~8:00	052-381-0579
9	エーコープ南陽店	港区大西1丁目40	月~土曜	10:00~19:00	052-301-8709
10	JAなごや守山支店朝市	守山区守山1-6-18	7のつく日	6:00~	052-793-2002
11	JAなごや守山東支店グリーンセンター	守山区小幡4-15	金曜	9:00~12:00	052-793-2700
12	JAなごや志段味(しだみ)支店朝市	守山区中志段味2035	月•木曜	9:00~	052-736-1100
13	小幡生玉(いくたま)稲荷朝市	守山区小幡中3-13-44	1・15日	6:00~	052-793-2002
14)	東谷山(とうごくさん)フルーツパーク青空市	守山区上志段味字東谷2110	土·日·祝日	9:00~12:00	052-736-3344
15)	JAなごや大高支店朝市	緑区大高町鶴田193	土曜	7:30~	052-621-1205
16	JAみどり桶狭間(おけはざま)支店土曜朝市	緑区桶狭間神明1513	土曜	7:00~11:00	052-623-3822
17)	JAみどり徳重支店土曜朝市	緑区乗鞍2-223	土曜	8:00~11:00	052-876-0437
18	JAみどり本店朝市	緑区潮見が丘2-325	土曜	8:00~11:00	052-896-3271
19	コープ大高インター店内 おおだかひろば	緑区大高町字定納山14-8	年中無休	9:30~21:00	052-621-4147
20	JA天白植田駅前支店朝市	天白区植田1-1602	土•日曜	6:30~7:30頃	052-801-1231
21)	JA天白信用グリーンセンター	天白区池場2-2506	月~金•日曜	9:00~12:00	052-807-7911

- ●「今すぐ近所の産直施設を探したい!」という方は、愛知県農林政策課(TEL 052-954-6395)が制作しているインターネットサイト「あいちの農林水産 産地直売所・ふれあい体験施設」をご覧ください。
 URL http://www.pref.aichi.jp/0000003150.html 約300もの産直施設の情報が載っています。
- ●他にも、「愛知県農林水産部 Twitter」「いいともあいち応援団 Facebook」等ソーシャルメディアでも、 食材や農業体験に関わる情報を発信中。愛知県農林水産部 URL http://www.pref.aichi.jp/nourin/



旬のお出かけ情報

~ 夏の花火大会 ~

夏の風物詩と言えば「花火」。

愛知県でも各地で大小さまざまな花火大会が行われます。

今回は7月から8月にかけて行われる花火大会をご紹介します。

近くで行われる花火大会を見つけたら、夏の思い出作りに見に行ってみてはいかがですか。



豊田おいでんまつり花火大会

_ 7 月			豊田650・このようが北久八五
開催日	名称	市町村	開催場所
12日(土)	篠島ぎおん野島祭り花火大会	南知多町	篠島
120(1)	日間賀島ぎおん祭り花火大会	南知多町	日間賀島(西浜海岸)
18日(金)	豊橋祇園祭	豊橋市	吉田神社周辺
19日(土)	豊川夏まつり	豊川市	進雄神社
19日(土)	春日井市民納涼まつり	春日井市	落合公園
20日(日)	蒲郡まつり納涼花火大会	蒲郡市	蒲郡市民会館前一帯
20日(日)	美浜町野間花火大会	美浜町	野間海水浴場
21日(月·祝)	名古屋みなと祭り花火大会	名古屋市	名古屋港ガーデンふ頭一帯
	国府夏まつり	豊川市	大社神社
26日(士)	衣浦みなとまつり花火大会	半田市	衣浦港中央ふ頭一帯
26日(土)	吉良花火大会	西尾市	宮崎漁港一帯
	豊浜花火大会	南知多町	豊浜漁港
27日(日)	豊田おいでんまつり花火大会	豊田市	矢作川河畔 白浜公園一帯

8月

-71						
2日(十)	岡崎観光夏まつり花火大会	岡崎市	乙川河畔及び矢作川河畔			
2日(土)	三好池まつり	みよし市	三好池公園内三好池			
3日(日)	豊明夏まつり花火大会	豊明市	豊明市文化会館周辺			
10日(日)	日本ライン夏まつり納涼花火大会	犬山市	犬山橋ツインブリッジ下流木曽川河畔			
13日(水)	新城納涼花火大会	新城市	桜淵公園内			
140(+)	濃尾大花火	一宮市	濃尾大橋北木曽川河畔			
14日(木)	足助夏まつり	豊田市	古い町並み一帯			
	西尾・米津の川まつり	西尾市	矢作川米津橋下流			
15日(金)	稲武まつり	豊田市	稲武中学校グラウンド			
	奥矢作温泉郷花火大会	豊田市	小渡温泉矢作川河川敷			
16日(土)	刈谷わんさか祭り花火大会	刈谷市	刈谷市総合運動公園一帯			
17日(日)	内海中日花火大会	南知多町	内海海水浴場			
	豊川市民まつり「豊川手筒まつり」	豊川市	豊川市野球場			
23日(土)	ながくて納涼まつり	長久手市	長久手市役所周辺			
	常滑納涼花火大会	常滑市	りんくう町一帯			

- ●詳しい情報は愛知県観光協会のホームページ (http://www.aichi-kanko.jp/index.asp) からご確認いただけます。
- ●各イベントの開催日は変更または中止となる場合もございます。 主催者にご確認のうえお出かけください。



支援センターからのお知らせ

くご自宅への訪問について>



7月下旬から 10月の間に、愛知県被災者支援センターのスタッフや保健師さん、市町村の職員などが、皆さまのご自宅を訪問させていただきます。皆さまの健康や、生活のことなどについて、お話しいただける機会となればと思っております。ご自宅に伺う前に、センターのスタッフや市町村職員、保健師よりお電話させていただく場合もありますので、その際にご都合の良い日をお伝えいただきますようお願い致します。

今回は、ご自宅を訪問する前に、皆さまの状況をお尋ねしたく、アンケートを郵送しており

ます。既にご投函いただいた皆さまには、御礼申し上げます。

訪問の際により具体的なお話ができるよう、まだご回答いただいていない方は、7月14日(月)までにご協力いただければ幸いです。

なお、既に名古屋市よりお知らせしておりますが、名古屋市にお住いの皆さまは、名 古屋市の保健師さんがご自宅を訪問いたします。



<表紙の絵を募集しています>

今号から表紙にお子さんの描いた絵を掲載していきます。

現在は残暑から秋頃の季節感のある絵を募集しています。(例えば、運動会、食欲の秋、紅葉など) 小さなお子さんにも描いて欲しいので、絵の上手さは問いません。

絵を送る際に、以下の5点について明記のうえメールまたはFAXにて送ってください。

- ① 絵のタイトル
- ② どんな絵なのか、どうしてこの絵にしたのか、などの説明(30字程度)
- ③ お名前(実名・匿名・ペンネームなど、掲載の表記希望をお知らせください)
- ④ 学年または年齢
- ⑤ 保護者の方の連絡先(氏名・メールアドレスまたは電話番号)

E-mail: aozora@aichi-shien.net

F A X : 052-954-6993



※掲載時、こちらで編集したり、内容によっては掲載不可となる場合もあります。その他、相談させていただく場合があることを、ご承知おきください。

現在、あおぞらでは皆さまにより有益な情報を提供すべく、紙面の刷新を進めております。 お気づきの点やご意見等ございましたら、(aozora@aichi-shien.net) までお寄せください。